

## 中国オートバイ産業における4大集積地と外国資本を中心とした市場行動に関する研究

著者	邵 利軍
ファイル(説明)	博士論文全文 博士論文要旨 最終試験結果の要旨 論文審査の要旨
学位授与番号	17701甲人社研第39号
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/00030824">http://hdl.handle.net/10232/00030824</a>

令和元年7月31日

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科長 殿

最終試験の概要及び結果報告書

地域政策科学専攻 氏名 邵 利軍

学位論文題目

中国オートバイ産業における4大集積地と外国資本を中心とした市場行動に関する研究  
(A study on the four accumulated areas of the motorcycle industry in China  
and the market conduct by the foreign capitals)

最終試験の概要

学位(博士)論文に関する最終試験を令和元年7月13日に実施した。まず、申請者による学位申請論文の内容説明後、下記5名の審査委員から論文内容に関しての質疑と、申請者による応答をおこなった。

申請者の論文は、改革開放後の中国経済において市場競争が導入されている数少ない産業であるオートバイ産業において多国籍企業の戦略を反映する合弁企業と国営企業および民間企業である国内資本系企業の市場行動により分析し、急激な成長を遂げ、停滞・衰退期に入るオートバイ産業の発展プロセスをあきらかにしたものである。

最終試験では、まず、先行研究による論文の位置づけや問題設定、分析手法および各種資料などが妥当なものとして評価された。最も高い評価を得たのが、多国籍企業の戦略のなかで、輸出に活路を見出した国内資本系企業の市場行動であり、2010年以降の多国籍企業の戦略の多様化である。これは、新たな発見であり、独創的な成果となっている。

その一方で、試験委員からは、論述が多国籍企業論に引きずられる傾向があり、発展段階論としての位置づけが曖昧になったこと等が指摘された。また、論述の精緻化に対して不十分な点があることが委員から指摘がなされたが、一定水準を満たす回答が得られ、論文全体の主旨を覆すものではないと判断された。

以上により、学位を与えるに十分な学力と見識を有するものと認定した。

授与する博士学位 學術  
最終試験結果 合

試験委員

主査

萩野 誠

副査

梁厚季雄

副査

石田 修

副査

西村 知

副査

山本一哉